

# 第39回全九州高等学校バスケットボール競技大会

公式ボックス・スコア

## 男子 準決勝

試合日：平成21年2月15日(日)  
 開始時刻：11:00  
 会場：宮崎市総合体育館  
 コート：Bコート  
 試合順：第2試合

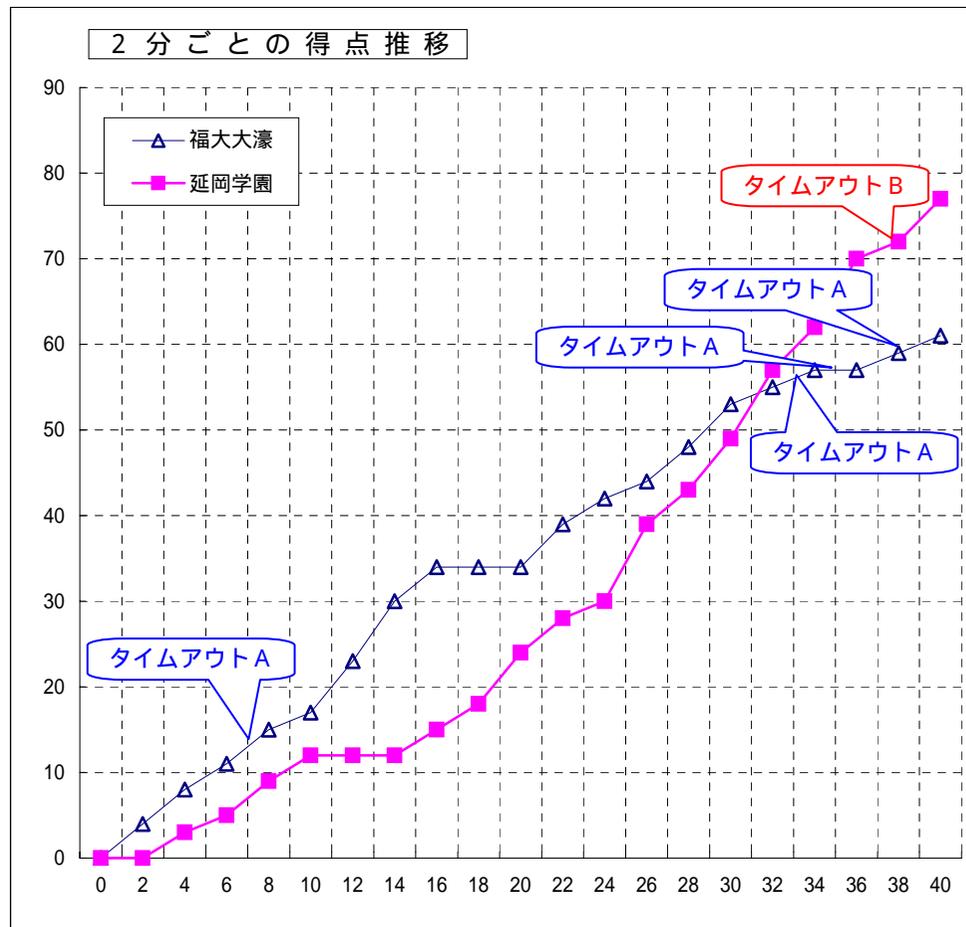
Team A		Team B															
福大大濠	61	77															
(福岡2位)	<table border="1"> <tr><td>17</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>17</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>19</td><td>-</td><td>25</td></tr> <tr><td>8</td><td>-</td><td>28</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	17	-	12	17	-	12	19	-	25	8	-	28	-	-	-	延岡学園
17	-	12															
17	-	12															
19	-	25															
8	-	28															
-	-	-															
		(宮崎1位)															

### Team A 福大大濠 (福岡2位)

S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F
			M	A	M	A	M	A	
4	二宮 弘憲	10	0	0	4	10	2	2	5
5	永野 俊輔	13	0	2	4	8	5	5	1
6	堀江 彰文	2	0	1	1	3	0	0	0
7	矢嶋 瞭	28	1	5	11	22	3	4	3
8	花田 マスヒ 真平	5	0	1	1	7	3	4	0
9	藤田 弘道	0	0	0	0	0	0	0	1
10	宮崎 弘太郎	0	0	0	0	1	0	0	4
11	藤原 宏伸	0	0	0	0	0	0	0	0
12	田中 貴啓	0	0	0	0	0	0	0	0
13	新飼 雄三	0	0	0	0	0	0	0	0
14	水口 雅也	0	0	0	0	0	0	0	0
15	川内 慎太郎	0	0	0	0	0	0	0	0
16	小原 大輝	0	0	0	0	0	0	0	0
17	藤原 慎一郎	0	0	0	0	0	0	0	1
18	中川 悠司	3	0	2	0	3	3	4	1
田中 國明/TEAM									0
合計		61	1	11	21	54	16	19	16
RATE			9.1%		38.9%		84.2%		

### Team B 延岡学園 (宮崎1位)

S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F
			M	A	M	A	M	A	
4	横瀬 孝樹	3	1	1	0	7	0	0	5
5	マツノ・ブイ	18	0	0	9	15	0	0	3
6	長谷場 祐二	5	1	4	1	3	0	0	4
7	永吉 佑也	17	0	0	6	12	5	8	2
8	川元 崇史	26	6	21	2	9	4	4	4
9	宇治橋 真悟	8	0	2	3	5	2	2	0
10	中小路 拓	0	0	0	0	0	0	0	0
11	寺原 庸太	0	0	0	0	1	0	0	0
12	西口 直哉	0	0	0	0	0	0	0	0
13	石灘 勝貴	0	0	0	0	0	0	0	0
14	中村 友哉	0	0	0	0	1	0	0	0
15	脇坂 恭輔	0	0	0	0	0	0	0	0
16	石田 慎太郎	0	0	0	0	0	0	0	1
17	大和 倫矩	0	0	0	0	0	0	0	0
18	甲斐 慶彦	0	0	0	0	0	0	0	0
北郷 純一郎/TEAM									0
合計		77	8	28	21	53	11	14	19
RATE			28.6%		39.6%		78.6%		



### 【戦評】

準決勝は延学がハーフコートマンツーマン、大濠が1-3-1のゾーンディフェンスでスタートした。延学はゾーンを崩せずリズムがつかめない。一方、大濠は相手のファールによるフリースローの得点と素早いミートからのドライブで得点を重ね最大20点のリードを奪う。しかし、第2ピリオド残り3分をきったところで延学#8川元の3Pシュートが連続で決まり追い上げをみせ、大濠のミスも続き、34-24の大濠10点リードで前半を終了する。第3ピリオドに入り延学は#5絵理マン、#7永吉のインサイドにボールを集め、大濠は#7矢嶋、#4二宮の1on1を中心としたオフENSEを展開する。一進一退の展開であるが、延学がリバウンドを制し徐々に点差を縮め、53-49で第3ピリオドを終了。第4ピリオドに入り延学は#8川元の3Pでこの試合初めてのリードを奪う。その後一進一退の攻防が続いたが抜け出したのは延学。#8川元の3Pシュート、#5エリマンのリバウンドシュートで得点を重ねた。一方大濠はシュートがあたりず、ミスも続いた。その後もリバウンドをほぼ延学に支配されファウルもかさみ、点差が離れていく。タイムアウト後も形勢は変わらず61-77で延学が決勝へ進んだ。

主審	川原 禎仁	副審	島袋 旬	記入者	池田泰介・平野利行
----	-------	----	------	-----	-----------